

全建発第 1 ～ 2 0 3 号
令和元年 9 月 2 0 日

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 大 石 久 和 印省略

第 6 5 8 回建設技術講習会（都市行政の課題・河川行政の課題）の開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省・農林水産省はじめ都道府県及び市町村等に勤務する建設技術関係者約 6 万名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上並びに建設技術関係者の連携・交流を図り、安全・安心で豊かな国土づくりに寄与する施策の円滑な推進及び良質な社会資本の整備・保全に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした一般社団法人です。

本講習会では、道路、河川、港湾、都市・地域整備等の各部門別の行政課題はもちろん、災害に強い安全な国土づくり、これからの社会インフラの維持管理・更新、現場の生産性を高め、働き方改革を進めるための i-Construction の貫徹に向けた取り組み、A I やロボットなど新技術を活用した公共事業、公共工事の品質確保と入札契約の適正化、災害復旧、工事積算における動向と工事施工における合理化と安全対策など、建設事業の実施にあたって特に重要な課題を取り上げることとしております。また、講師には建設行政や建設技術等の各分野において造詣が深い方を迎え、公共事業に係る諸問題解決や実務の習得、最新情報の提供及び現場力向上のための現場視察など業務に直接役立つ内容となっています。

このたびの第 6 5 8 回建設技術講習会では、都市行政ではコンパクト・プラス・ネットワークの形成、スマート・プランニングの推進、官民連携によるエリアマネジメントの推進、都市防災、歴史・景観まちづくり、地域交通とまちづくりなど、河川行政では最新の河川行政施策、国土強靱化に向けた水防災意識社会への転換、地震・風水害対策、大規模氾濫に対する治水対策、河川の維持管理、I C T を活用した河川管理と防災・減災の取り組み、河川環境の保全、土砂災害対策などについて学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

本講習会は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。 謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会長 大石 久和
印省略

第658回建設技術講習会（都市行政の課題・河川行政の課題）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚く御礼申し上げます。

本協会では、令和元年11月13日(水)～15日(金)、新潟市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、都市行政ではコンパクト・プラス・ネットワークの形成、スマート・プランニングの推進、官民連携によるエリアマネジメントの推進、都市防災、歴史・景観まちづくり、地域交通とまちづくり等、河川行政では最新の河川行政施策、国土強靱化に向けた水防災意識社会への転換、地震・風水害対策、大規模氾濫に対する治水対策、河川の維持管理、ICTを活用した河川管理と防災・減災の取り組み、河川環境の保全、土砂災害対策等について学ぶとともに最新の情報を得ることを目的としています。

なお、本講習会は新潟県・新潟市の共催、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴講料：

区分	一般 (非会員)	会員		
		正会員	特別会員	賛助会員
通常料金	18,740円	13,648円	13,648円	13,648円
新潟県内の国・県・政令市に勤務	13,648円	2,037円	2,037円*2	—
新潟県内の市町村に勤務	2,037円	0円	—	—
北陸地区連合会管内の市町村に勤務*1	18,740円	2,037円	—	—
30歳未満	18,740円	2,037円	—	—
学生	0円	—	—	—

*1政令市職員は除く、*2特別会員は開催県内勤務または在住の者

※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい。

※聴講のみの参加は可能です。 ※昼食の斡旋はありません。

※割引価格(2,037円)で参加の場合、取り消しはできません。

※平成30年度より「地区連割」を実施しています。

③現場研修料：7,900円〔うち昼食代1,200円〕 ※現場研修のみの参加はできません。

④申込方法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
※会場でのお支払い等のご遠慮願います。

⑤申込書送付先：(一社)全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 キーストーン赤坂ビル7F
TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シャ)ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ
※必ず、お振込人名義(協会名)の前に、開催回数「658」をつけ加えて下さい。
※振込手数料はご負担願います。

⑦申込締切日：令和元年10月25日(金)必着(締切日以降に到着したものは受理できない場合があります)

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	令和元年11月1日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	令和元年11月8日(金)までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。
※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

本講習会は「全建CPD(継続教育)制度」及び「CPDS(予定)」の認定講習会です。

【聴講/現場】全建：8単位/3.25単位、CPDS：(未定)

第658回建設技術講習会（都市行政の課題・河川行政の課題）日程 ～都市行政及び河川行政施策の最新情報と重要施策の具体の取り組みについて学ぶ～

(都市) コンパクト・プラス・ネットワークの形成、スマート・プランニングの推進、官民連携によるエリアマネジメントの推進、都市防災、歴史・景観まちづくり、地域交通とまちづくり等
(河川) 最新の河川行政施策、国土強靱化に向けた水防災意識社会への転換、地震・風水害対策、大規模氾濫に対する治水対策、河川の維持管理、ICTを活用した河川管理と防災・減災の取り組み、河川環境の保全、土砂災害対策 等

会場 …… 【(1日) 合同】 朱鷺メッセ (メインホールB)
【(2日) 都市/河川】 " (中会議室301/302)
〒950-0078 新潟市中央区万代島6-1 TEL025-246-8400(代)

(1日目)	開場11:40	令和元年11月13日(水)【合同】メインホールB	(敬称略)
12:40 }	あいさつ	新潟県知事	花角英世
13:00		新潟市長 (一社)全日本建設技術協会 常務理事	中八秀幸
13:00 }	まち・ひと・しごと創生のための都市行政の課題	京都府立大学 副学長	宗田好史
14:00			
14:10 }	河川行政を取り巻く課題と今後の展開	国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 河川技術調整官	森久保 司
15:10			
15:20 }	【地域事業の紹介①】 大河津分水路改修について	国土交通省北陸地方整備局信濃川河川事務所 所長	室永武司
15:50			
15:50 }	【地域事業の紹介②】 新潟駅周辺整備事業について 寺山公園整備事業について	新潟市都市政策部新潟駅周辺整備事務所 主幹	本間 均
16:20		新潟市土木部公園水辺課 係長	長谷部 原
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 <希望者のみ> (17:30~19:00(予定))		アートホテル新潟駅前 4階「越後東」 TEL025-240-2111	
(2日目)	開場 9:00	11月14日(木)【都市部門】中会議室301	(敬称略)
9:40 }	立地適正化計画制度によるコンパクトなまちづくり ～コンパクト・プラス・ネットワークの形成～	国土交通省都市局都市計画課 課長補佐	松村知樹
10:40			
10:50 }	地域交通とまちづくりについて	国土交通省都市局街路交通施設課 課長補佐	久田資章
11:50			
13:00 }	都市の防災・減災と復興事前準備について	国土交通省都市局都市安全課 都市防災対策企画室 課長補佐	池田 亘
14:00			
14:10 }	『官民連携まちづくり』のすすめ	国土交通省都市局まちづくり推進課 官民連携推進室 室長	三浦良平
15:10			
15:20 }	公園・庭園等のネットワーク化とガーデンツーリズムについて	国土交通省都市局公園緑地・景観課 国際緑地環境対策官	脇坂隆一
16:20			
16:20 }	閉会のあいさつ	新潟市 技監	新階寛恭
(2日目)	開場 9:00	11月14日(木)【河川部門】中会議室302	(敬称略)
9:40 }	気候変動の影響を踏まえた今後の治水計画について	国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 河川計画調整室 企画専門官	奥野真章
10:40			
10:50 }	河川における戦略的維持管理の今後の展開	国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 河川保全企画室 室長	青野正志
11:50			
13:00 }	ダム事業の最近の取り組み	国土交通省水管理・国土保全局治水課 企画専門官	根本 深
14:00			
14:10 }	近年の土砂災害の特長と今後の対策	国土交通省水管理・国土保全局砂防部 砂防計画課 砂防計画調整官	國友 優
15:10			
15:20 }	水辺とまちの未来創造について	国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 河川環境保全調整官	舟橋 弥生
16:20			
16:20 }	閉会のあいさつ	新潟県土木部 技監	坂井 徹
(3日目)	集合 8:00～	11月15日(金)【現場研修】	(敬称略)
JR新潟駅南口(PLAKA1前)(8:15)出発			
→ 大河津分水路改修事業(下車説明) → 昼食(新潟市内) → 新潟駅周辺整備事業(下車説明)			
→ 寺山公園整備事業(下車説明) → 新潟駅(16:00)着後解散			
※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。			
※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。			
全建CPD(継続教育)制度・CPDS(予定)認定プログラム 【聴講/現場】全建：8単位/3.25単位、CPDS：(未定)			

第658回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. 大河津分水路改修事業

..... 燕市五千石～長岡市寺泊

- 大河津分水路には可動堰が、信濃川に洗堰が設置されており、両施設が連携稼動することで、洪水時に信濃川下流域に洪水が流れるのを防いでいる。
- 1931年6月20日に延べ124万人が動員された補修工事が完了。漸く安定した運用が可能となった
- 1992年には本川側の堰である洗堰の改築事業に着手し、2000年5月29日に新洗堰通水。（2002年事業竣工）
- 使用されなくなった旧洗堰は産業遺産として国の登録有形文化財に登録された。
- 2003年には可動堰の改築事業に着手し、2011年11月23日に新可動堰通水。（2014年事業竣工）
- 大河津分水路の洪水処理能力の向上は、信濃川中、上流区間でも河川改修を推進することが可能となり、それら進捗に併せ、上流の長野県区間の河川改修を推進することで、信濃川流域全体の治水安全度が向上する。
- 戦後最大規模（1981年8月）の洪水が流下した場合、家屋浸水被害を防止、軽減を目的に河口から上流へ延長3.3kmの区間で放水路の拡幅を図る改修工事が2015年度から2032年度まで行われている。
- 改修工事では、山地部の掘削、第二床固改築、野積橋の河口側への架け替えなどが行われている。



2. 新潟駅周辺整備事業

..... 新潟市中央区花園

- 日本海側の拠点にふさわしい都市機能の強化に向けて、連続立体交差事業を核とし、幹線道路や駅前広場などの都市基盤整備、周辺市街地の総合的な整備を図る新潟駅周辺整備事業を進めている。
- 連続立体交差事業は西誇線橋の新潟駅寄り付近から都市計画道路万代島ルート線（栗の木バイパス）までの約2.5kmの区間を高架化し、2本の踏切の除却と4本の幹線道路整備により南北市街地の一体化を図る。
- 2018年4月に第一期開業を迎え、駅部では2～5番線、西側の越後線全線、東側は2線（完成4線）が供用、あわせて新幹線と在来線の同一乗り換えホームも使用を開始した。現在は2021年度頃の全線高架化に向け第二期工事を進めている。
- 全線高架後、高架下交通広場（バス乗降場）や万代広場の整備を実施する予定。



3. 寺山公園整備事業

..... 新潟市東区寺山

- 2018年4月にオープンした寺山公園は、「緑に囲まれた健康・交流・子育ての場」をコンセプトに新たに整備した約4.6haの地区公園。
- 基本理念は「遊ぶ」「つながる」「楽しむ」とし、一年を通して利用でき、子育てや多世代の交流拠点となることを目指した公園。
- 公園内には、多様な健康レクリエーションの場や地区住民の憩いの場を確保するとともに、子供たちの健全育成を図るため、荒天時も安心・安全に楽しめるよう、子育て交流施設「い～てらす」を整備。
- 災害時には避難場所として活用できるよう、防災トイレや、かまどベンチ等の設備も有している。



第658回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には新潟市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込締切後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前(前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

令和元年11月12日(火), 13日(水), 14日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名・所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
ラマダホテル新潟 新潟市中央区弁天1-2-4 Tel.025-244-5151	シングル	40名	7,300円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

また、朝食不要とすることもできます。詳細は「宿泊案内」をご覧ください。

案内図



第658回建設技術講習会に参加の皆様へ！ 「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、技術者の連携・交流を図るため「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の情報交換・意見交換や交流の場として活用し、また講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時：令和元年11月13日(水) 17:30～19:00(予定)
(第658回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所：アートホテル新潟駅前 4階「越後東」

会費：2,000円(講習会受付時に徴収)

※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。
 ※この交流会は会費制です。
 ※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。
 ※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。
 ※開催場所・時間等が変更になる場合があります。その際は講習会場にてご案内いたします。
 ※服装については特に問いません。



【交流会・意見交換会に参加予定の講師】

- | | |
|--------------------------------|----------|
| ・ 京都府立大学 副学長 | 宗田 好史 講師 |
| ・ 国土交通省都市局都市計画課 課長補佐 | 松村 知樹 講師 |
| ・ 国土交通省都市局街路交通施設課 課長補佐 | 久田 資章 講師 |
| ・ 国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 河川技術調整官 | 森久保 司 講師 |
| ・ 国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 河川保全企画室長 | 青野 正志 講師 |
| ・ 国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 企画専門官 | 奥野 真章 講師 |

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)

※都合により内容が変更になる場合があります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com

2会場となりますので、部門別の欄も必ず記入してください。

令和元年 月 日

一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____
(特別・賛助会員名、会社名)

第658回建設技術講習会（都市行政の課題・河川行政の課題）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			部門別		現場研修	交流会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		(非 会 員)	会 員	正会員 30 歳 未 満	都 市	河 川			予約日に○を 記入して下さい		
										11月 12日	13日	14日
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
聴講料 ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,740円＝ 円 会員(正会員・特別会員・賛助会員) 名×13,648円＝ 円 正会員(30歳未満、地元及び地区連管内の市町村) 名×2,037円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元及び地区連管内の市町村)とは、開催県内に勤務する「正会員・特別会員」 及び開催地区連合会管内の市町村(政令市除く)に勤務する「正会員」(賛助会員除く)									現場研修 の昼食は 不要の申し 出はできま せん※			
現場研修料 名×7,900円＝ 円												
計									円			

宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。
禁煙・喫煙の希望がある場合には、「○禁」、「○喫」のように記入してください。

【お申込み時の注意について】

↓全建に振込

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までにメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、割引価格(2,037円)で参加の場合、キャンセルはできません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をします。不要の申し出はできませんのでご了承下さい。